

協議事項50

学校給食について

学校給食について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和6年2月5日提出

神戸市教育委員会事務局
事務局長 高田 純

学校給食について（食材価格高騰と給食の質の維持）

1. 学校給食委員会における検証

（1）概要

- ・令和5年11月9日及び12月21日に学校給食委員会を開催し、食材価格が高騰する中での給食の現状と課題、給食費の単価と栄養バランスの関係等について、詳細にデータを示した上で意見交換を実施。（資料1参照）

（2）委員からの主な意見

① 11月9日

- ・子供たちは給食を楽しみにしており、デザートを減らすなどの対応は極力避けてもらいたい。
- ・栄養をしっかりと担保できる中での給食費の最低限の値上げは仕方ないのではないかと。現状や理由をわかりやすく説明できれば、保護者は納得できるのではないかと。
- ・保護者としては栄養バランスを崩すようなことはやめてもらいたいという意見が多いのではないかと。中学校給食が全員喫食に移行した後のことも踏まえて、保護者にはきちんと説明していく必要がある。

② 12月21日

- ・エネルギー量を満たし、持続可能な給食を提供していくためには、ある程度の給食費の改定は必要だと思う。
- ・困っているご家庭には就学援助等の制度もある。食育推進のためにも、栄養バランスのとれた給食提供を続けてほしい。
- ・栄養価を満たした給食を維持するために、給食費の一定の改定はやむを得ないが、できるだけ保護者負担を増やさない方向で進めてもらいたい。

2. 今後の対応

- ・学校給食委員会での意見も踏まえ、現行の食材価格の水準において、児童生徒にとって必要な栄養量を確保するための適切な給食提供のあり方について検討する。

食材価格高騰と給食の質の維持

1. 食材価格の推移

(1) 副食

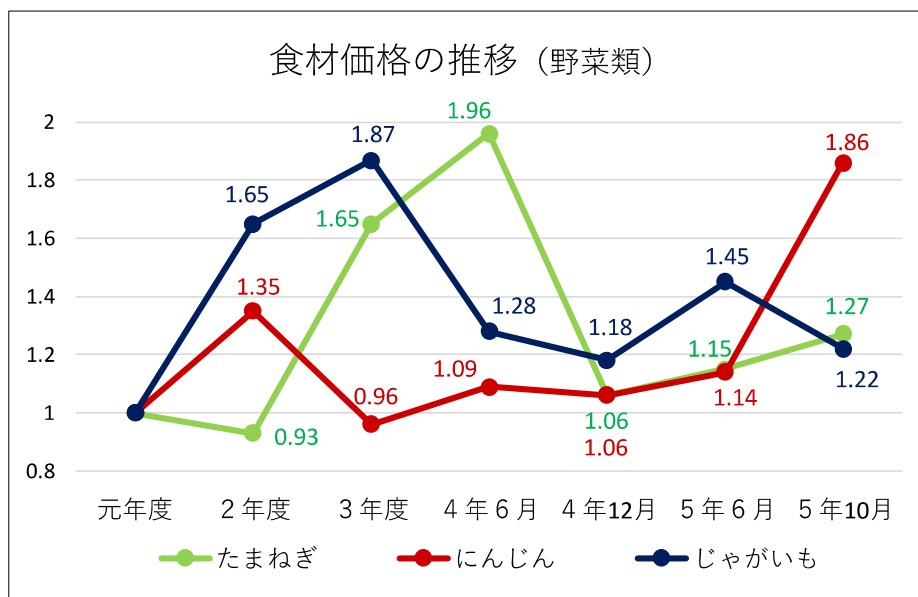
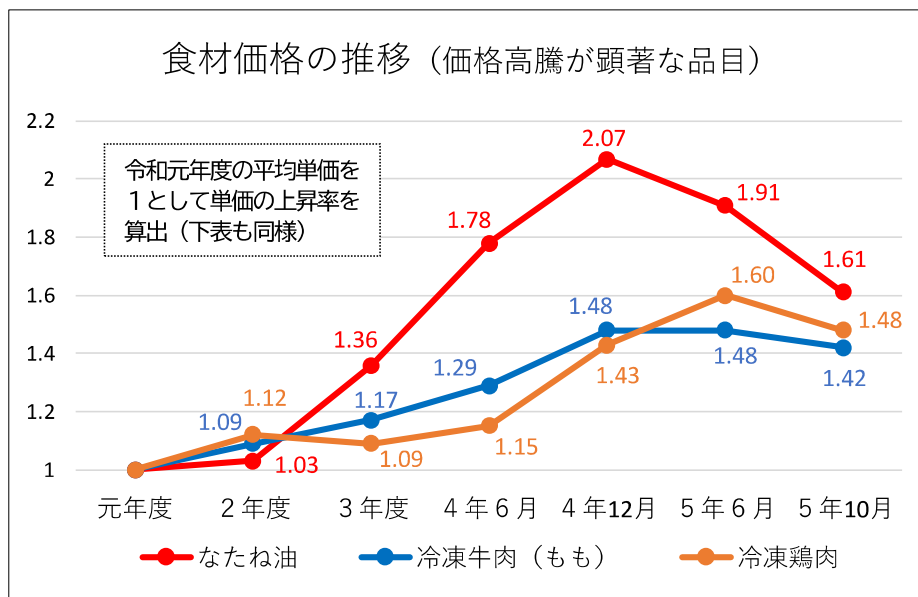
- 給食での取り扱いが多い 20 品目の購入単価について、コロナ禍前の令和元年度との比較で、高い水準が続いている。

【主要 20 品目の価格の推移】

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年 6 月	令和 5 年 10 月
令和元年度比	1.15 倍	1.25 倍	1.32 倍	1.36 倍

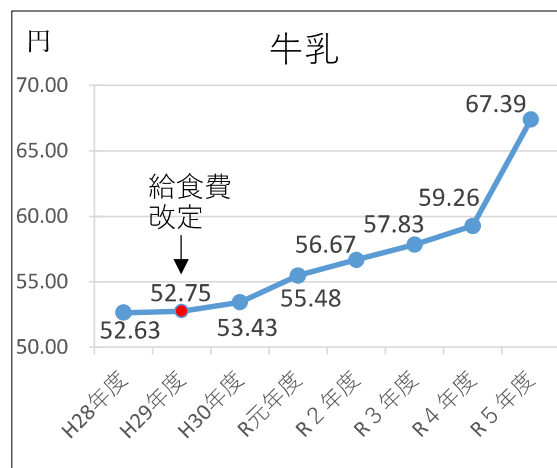
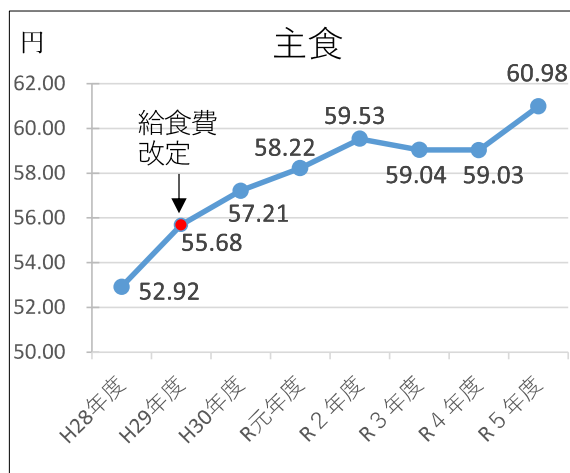
※令和元年度の平均単価を 1 とした場合の単価の上昇率

【個別品目の価格の推移】



(2) 主食・牛乳（1食あたり単価の推移）

・平成29年度の給食費改定後、主食が約5円、牛乳が約15円値上がりしている。



平成29年度 令和5年度
@55.68円 ⇒ @60.98円(+5.3円)

平成29年度 令和5年度
@52.75円 ⇒ @67.39円(+14.64円)

2. 給食の1食あたり単価と栄養バランスの関係

(1) 献立のシミュレーション

・令和4年度より、高騰する食材費の増額分を公費負担することで、コロナ禍前と同等のメニューで献立を作成し、給食の提供を行っているが、令和5年7月及び10月の献立を、仮に1食あたり260円（給食費の単価）におさめようとする、以下のような対応が必要になる。

	令和5年7月	令和5年10月
①デザート・ふりかけ等を提供しない	5回 ▲13.7円	6回 ▲14.5円
②3品目のおかずを提供しない	2回 ▲8.1円	2回 ▲5.3円
③煮物・汁物を単価の安いメニューに変更する	6回 ▲18.3円	11回 ▲13.3円
④具（豚肉等）の量を減らす	2回 ▲2.9円	7回 ▲15.9円
⑤おかずを1品にする	2回 ▲4.5円	2回 ▲5.9円
計	▲47.5円	▲54.9円

※主食・牛乳の単価がさらに値上がりした場合には、その分副食にかけることができる金額が減るため、「⑤おかずを1品にする」の回数を増やすなど、上記以上に厳しい対応が必要となる。

(2) 栄養量の算出

- ・前ページのシミュレーションに基づき、栄養量を算出すると以下のとおりとなる。
(小学校中学年で試算。栄養量は「日本食品標準成分表 2015 年版（七訂）」に基づき算出。)

	学校給食 摂取基準	令和5年7月 (仮)	令和5年10月 (仮)	令和5年10月 (※)
エネルギー(kcal)	650	▼ 610	▼ 601	▼ 574
たんぱく質 (%)	13~20	15.2	15.9	15.8
脂質 (%)	20~30	28.8	28.8	29.3
食塩相当量 (g)	2未満	2.1	2.1	1.6
カルシウム (mg)	350	▼ 308	▼ 310	▼ 284
鉄 (mg)	3	▼ 1.9	▼ 2.1	▼ 1.6
ビタミンA (μg RAE)	200	337	324	285
ビタミンB1 (mg)	0.4	▼ 0.35	▼ 0.35	▼ 0.33
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.48	0.48	0.46
ビタミンC (mg)	25	▼ 19	▼ 20	▼ 14
食物繊維 (g)	4.5	▼ 4	▼ 3	▼ 3

※仮に、主食・牛乳の単価が値上がりすること（最大+20円）を見込んだ場合

- ・食材価格が高い水準が続く中で、現行の1食あたりの給食費単価では、児童生徒にとって必要なエネルギー摂取量を満たすことができず、栄養バランスのとれた給食を提供することはできないものと考えられる。

3. 児童生徒に必要な栄養量等を満たすための1食あたり給食費単価（案）

食材価格の水準	献立※	小学校(現行@260円)	中学校(現行@340円)
①令和5年度と同水準程度と見込む場合	A	@310円程度(+50円)	@370円程度(+30円)
	B	@300円程度(+40円)	@360円程度(+20円)
②主食・牛乳の値上げを見込む場合(最大+20円程度)	A	@330円程度(+70円)	@390円程度(+50円)
	B	@320円程度(+60円)	@380円程度(+40円)

※献立の水準について

A：令和5年度と同水準の献立とする場合

B：一部献立を単価の安いメニューに変更するなど、栄養摂取基準を満たす範囲で工夫を行う場合（量そのものは減らさず、一部食材を変更〔牛肉⇒豚肉〕するなど）

[参考①] 小学校給食費（1食単価）の推移

改定年度	給食費	改定幅	改定理由
S60	173 円	14 円	
H4	191 円	18 円	消費税(平成元年～3%)、食材価格上昇等
H12	215 円	24 円	消費税(平成9年～5%)、米穀補助廃止等
H19	233 円	18 円	食材価格上昇、米飯回数増等
H29	260 円	27 円	消費税(平成26年～8%)、食材価格上昇等

[参考②] 中学校給食費（1食単価）の推移

年 度	主食+副食	牛乳	合計	備 考
～R元	244 円	56 円	300 円	
R2	280 円	57 円	337 円	給食費改定、牛乳選択制導入
R3	280 円	58 円	338 円	
R4・R5	280 円	60 円	340 円	

※令和2年度からは半額助成を実施しているため、保護者負担は上記表の1/2の金額

[参考③] 給食費1食単価の他都市の状況（令和5年度）

(1) 小学校

- ・政令指定都市平均 269 円 (243 円～306 円)
- ・県内都市平均 249 円 (210 円～275 円)

(2) 中学校（牛乳を含む）

- ・政令指定都市平均 328 円 (289 円～376 円)
- ・県内都市平均 286 円 (240 円～340 円)

※県内都市は28市（設定額が不明の1市を除く）の平均

学校給食委員会における主な意見

1. 令和5年11月19日

- ・栄養をしっかり担保できる中での給食費の最低限の値上げは仕方ないのではないか。現状や理由をわかりやすく説明できれば納得できるのではないか。
- ・子供たちは給食を楽しみにしており、デザートを減らすなどの対応は極力避けてもらいたい。
- ・給食費の負担は丁寧な説明があると思うが、よく考えてもらいたい。
- ・保護者としても、ある程度の物価高騰には対応しなければならないという気持ちはあると思う。栄養バランスを崩すようなことはやめてもらいたいという意見が多いのではないか。
- ・給食はただ栄養をとるだけのものではなく、学校の中で一大イベントとなっている。その給食をどうやって守っていくことができるか、知恵を出し合っていきたい。

2. 令和6年12月21日

- ・価格の高騰が栄養価に与える影響は深刻だと感じた。
- ・やはりエネルギー量さえ満たせないとすると、給食費を改定する必要があると思う。
- ・経済的に苦しい家庭については、公的な補助もあるので、持続可能な給食を維持するためにはある程度の値上げは必要だと考える。
- ・栄養価も維持しながら楽しみも残すのであれば、今年度と同水準の献立としていくことが良いのではないかと思う。
- ・栄養量も含め、さまざまなデータを示した上で、負担額を提案していく過程が必要だと思う。
- ・小学校でも中学校でも給食は楽しいものであってほしい。そのための工夫は今後も行っていたきたい。
- ・給食費の改定について、本当に困っているご家庭には就学援助等の制度もある。食育推進のためにも、栄養バランスのとれた給食提供を続けてほしい。
- ・段階を踏んで、きちんと周知していくことが大切だと思う。
- ・子供の身体的な成長に直結する問題であり、成長期の子供たちが十分に栄養を摂取できるようにしてもらいたい。
- ・栄養価を満たした給食を維持するために、給食費の一定の改定はやむを得ないが、できるだけ保護者負担を増やさない方向で進めていただきたい。

神戸市学校給食委員会委員名簿

区分	分野	役職等	氏名 (敬称略)
有識者	学識経験者	大阪公立大学名誉教授 甲南大学経営学部教授 神戸学院大学栄養学部助教	植村 興 西村 順二 小林 麻貴
保護者	PTA	神戸市立小学校PTA連合会会長補佐 神戸市立中学校PTA連合会会長	横田 紀子 宮澤 清志
学校	小学校長代表	東須磨小学校長 井吹の丘小学校長	小山 光一 空井 淳子
	中学校長代表	飛松中学校長 高倉中学校長	佐々木 祐二 赤松 三菜子
	特別支援学校長代表	青陽須磨支援学校長	竹内 寛子
行政	教育委員会事務局	学校支援部長	竹森 永敏
	(一財)神戸市 学校給食会	常務理事	中村 俊彦